

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人美郷会	代表者	理事長 佐藤 眞杉	法人・事業所の特徴	包括的なサービスでの支援により、利用者さんの困り事や状況の変化に気付きやすい。また、その場に応じた柔軟な対応が可能である事により利用者さんの安心感に繋がっている。
事業所名	小規模多機能ホーム まきの美郷	管理者	福田 誠		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	2人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

※出席者について・・・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い運営推進会議の開催を中止とした為、各必要書式を書面で配布する事によりご意見を頂きました。上記人数欄には書面配布を行った人数を記入しておりますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ全員が事業所運営を意識し、常に利用者さんやご家族に還元出来る業務改善を行っていく。	運営推進会議に職員も参加することで、運営に対する意識をあげ、月1回の会議で職員に周知をおこなうように取り組んだ。	特に意見なし。	事業所の改善計画を具体的でわかりやすく項目を挙げ、職員間で共有し達成できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔な環境を保ち、家族や地域住民の方が来訪頂きやすい環境を整備していく。	感染委員が主となり、事業所の整理整頓に努めることができていた。	特に意見なし。	事業所内に利用者様の作品を飾る等の環境作りに取り組んでいく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の会議に参加するなどし、個々で事業所としてのあり方を考えるきっかけを作り、より地域との協働を意識出来るようにしていく。	コロナウイルス流行の為、積極的に地域の会議に参加することができなかった。	コロナ感染拡大予防の為、イベント開催や参加は難しい状況であると思います。	感染状況に応じて地域に行事の案内を配布する等で多くの方に参加して頂けるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も魅力的なイベント参加や外出レクを企画し、より充実した地域資源の活用を目指していく。	コロナウイルス流行の為、外出レクは自粛していたので積極的に地域のイベントに参加はできなかった。	コロナ感染の為、外出が難しいと思います。	感染状況を見ながら地域行事の参加、散歩やドライブでも地域に出向く機会を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き地域の困りごとについて運営推進会議にて意見を募っていく。	運営推進会議にて地域の方との合同でのイベントを実施予定だが、感染症対策の為延期になっている。	特に意見なし。	運営推進会議で出した意見を事業所会議の議題として取り上げ改善に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	今後も今までにない非常事態が起こりうると予想される為、引き続き防災・災害対策を行っていく。	火災・水害を予測した訓練を利用者様も参加し実施することできている。	特に意見なし。	事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報を共有する。地域の防災訓練に参加していく。